

2013年4月30日
東日本旅客鉄道株式会社

2013年度設備投資計画について

このたび、2013年度の設備投資計画を策定しましたので、お知らせいたします。
昨年秋に発表した「グループ経営構想 ～限りなき前進～」に基づき、災害に強い鉄道を目指して大規模地震対策と沿岸被災線区の復旧に重点的に取り組むとともに、従来から取り組んできた安全性の向上やお客さま満足の向上、将来の成長のための設備投資を着実に推進いたします。

設備投資額(単体)は、2012年度実績比400億円増の4,450億円を計画しています。

主な設備投資の内容

従来から進めている高架橋柱・橋脚・駅舎等の耐震補強に加え、首都直下地震に備えた盛土、切取、レンガアーチ高架橋、電化柱の耐震補強や駅・ホームの天井・壁落下防止対策等を本格的に進めます。

沿岸被災線区の復旧については、地域全体の復興や「まちづくり」の計画策定と一体となって、国・地方自治体と協議しながら着実に進めます。

踏切事故対策、自然災害対策などの安全対策を着実に推進します。また、駅ホームの安全性を高めるために、山手線の大塚駅、巣鴨駅など7駅においてホームドアを使用開始するほか、プラットホームへの点字ブロック内方線の整備を引続き実施します。

2014年春の時速320km運転開始に向け、秋田新幹線直通用の新型高速新幹線車両E6系の追加投入を行うとともに、2014年度末の北陸新幹線金沢開業に向けE7系車両の製造等の諸準備を着実に進めます。

在来線では、2014年度中の東北縦貫線開業に向けた整備を推進するほか、通勤型電車E233系車両の埼京線・横浜線への投入を進めます。

「乗る」こと自体が目的となるような、新しいコンセプトの列車づくりを進め、本年度は、「SL銀河鉄道(仮称)」および全席レストラン空間の列車「Tohoku Emotion」の運行を開始します。

鉄道輸送の安定性のさらなる向上をめざし、老朽設備の更新を着実に進めるほか、首都圏における雪害対策を引き続き実施します。

「Tokyo Station City」として東京駅周辺で整備を進めている計画のうち、八重洲口開発（中央部・グランルーフ）が完成します。

中央ラインモール「nonowa 武蔵境」、神田万世橋高架下開発、JR大塚駅南口ビル（仮称）、海浜幕張駅エキナカ商業施設を開業します。

電力の安定供給確保をめざし、川崎火力発電所等の設備更新を進めるほか、京葉車両センターに太陽光発電設備を整備します。また、電力貯蔵装置、電力融通装置、駅電力量表示装置の整備等スマートグリッド技術の導入を進めます。

烏山線で2014年春から蓄電池駆動電車が営業運転を開始します。また、様々な環境保全技術を導入した「エコステ」モデル駅として、新たに京葉線海浜幕張駅の整備を完了します。

東京駅構内全体に共通ネットワークを整備し、公衆無線LANの拡充や、スマートフォン向けアプリとエリアワンセグ放送を通じたお客さまへの鉄道関連情報の提供を行います。

設備投資額（単体）

（単位：億円）

	2013年度計画	2012年度実績	2011年度実績	2010年度実績
交通サービス部門	3,950	3,581	2,639	3,183
生活サービス部門	500	463	435	361
合計	4,450	4,044	3,074	3,544
リース投資	173	94	42	71

2013年度 設備投資計画概要

主な件名

変わらぬ使命

「究極の安全」に向けて ~災害に強い鉄道づくり~

・大規模地震対策

高架橋柱、橋脚、盛土、レンガアーチ、電化柱、
駅舎等の耐震補強
支社ビル等地震対策

・踏切事故対策

・ATS等整備

・山手線ホームドア整備

・内方線付ホーム縁端ブロック整備

・自然災害対策(降雨・豪雪等)



橋脚耐震補強



高架橋柱耐震補強



レンガアーチ耐震補強



盛土耐震補強(イメージ)



山手線ホームドア

サービス品質の改革 ~鉄道ネットワークの拡充等~

・東北新幹線高速化

・北陸新幹線用E7系車両新造

・東北縦貫線整備

・埼京線用E233系車両投入

・横浜線用E233系車両投入

・エレベーター設備整備

・電気式ポイント融雪装置整備

・ベビー休憩室整備

・駅待合室整備

・駅トイレ整備

・異常時案内用ディスプレイ整備

・電気設備雷害対策

・東京100km圏エネルギーネットワーク更新・強化



E6系高速新幹線車両



東北縦貫線整備



北陸新幹線用E7系車両



埼京線用E233系車両



ベビー休憩室

変わらぬ使命

地域との連携強化 ～震災からの復興、観光流動の創造と地域の活性化～

- 沿岸被災線区の復旧
 - 気仙沼線・大船渡線BRT仮復旧
 - 現位置復旧・ルート変更
- 仙石線・東北本線接続線整備
- 「SL銀河鉄道(仮称)」導入
- 「Tohoku Emotion」(全席レストラン列車)導入
- 自由通路・橋上駅舎整備
- 鎌倉・北鎌倉駅舎整備
- 大規模ターミナル駅開発
 - 東京ステーションシティ(中央部・グランルーフ)(2013年秋開業予定)
 - 新宿、渋谷、横浜、千葉、仙台 ほか
- 選ばれる沿線ブランドづくり
 - 中央ラインモール(nonowa武蔵境)(2013年5月29日開業予定)
 - 神田万世橋高架下開発(2013年夏開業予定)
 - JR大塚駅南口ビル(仮称)(2013年秋開業予定)
 - 海浜幕張(2013年秋開業予定)、吉祥寺、船橋、茅ヶ崎、川崎、小山ほか
- 地方中核都市の活性化
 - 長野駅新駅ビル ほか



BRT駅舎



BRT専用道・車両



SL銀河鉄道(仮称)



Tohoku Emotion



東京ステーションシティ(グランルーフ)



新宿駅新南口ビル(仮称)



長野駅新駅ビル(エントランス)

無限の可能性の追求

技術革新 ～エネルギー・環境戦略の構築、ICTの活用、高速化～

- 烏山線蓄電池駆動電車投入
- 「エコステ」モデル駅の整備推進
- 京葉車両センター大規模太陽光発電設備整備
- 電力貯蔵装置整備
- 駅電力量表示装置導入
- 電力融通装置整備
- LED照明化
- 駅構内共通ネットワーク整備(東京駅)

新たな事業領域への挑戦 ～グローバル化～

- 鉄道車両製造事業の拡大

人を伸ばし、人を活かす企業風土づくり

- 女性社員設備整備
- 現場第一線における技術開発
- 研修・訓練センター設備整備



烏山線蓄電池駆動電車



太陽光発電設備



駅電力量表示装置